

PRESS RELEASE

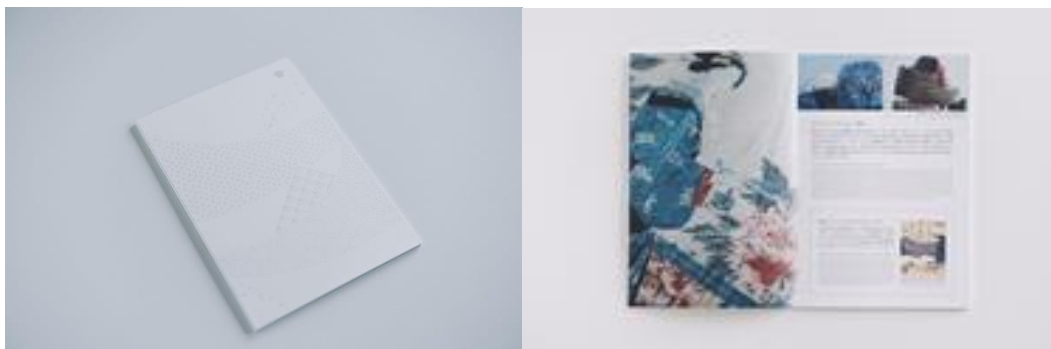
『印傳屋 ブランドブック』

「印伝」の誕生から思いまでを綴った一遍

鹿革は、その柔らかな感触が人肌に最も近いとされ、軽くて丈夫なことから、いにしえより生活の道具や衣類などに利用されてきました。

山梨県（甲州）に生まれた「甲州印伝」は、遠祖上原勇七が鹿革に撥水性をもたらすために漆を施した「漆技法」に始まります。その他「燻技法」「更紗技法」など、印伝独自の技法は時代と共に革新を繰り返し、磨かれ、途絶えることなく、400年以上に渡って継承されてきました。印伝は人から人へ独自の技術を伝え、人との、そして自然との調和を図り、時代に即した斬新さを求めて進化しています。そして、印傳屋では、稀少な革工芸文化の担い手としてその技法を広く公開し普及に努めています。

この度、その文化と歴史、技法、歩み、そして、印傳屋の思いまでを「印傳屋 ブランドブック」として一冊にまとめました。印伝の誕生から思いまでを綴った一遍です。



※ 日本語と英語の表記です。

- 「印傳屋 ブランドブック」をご希望の方は、10月15日以降、弊社直営店にご来店いただき、スタッフまでお声掛け下さい。
- おひとり様、1冊までとさせていただきます。

<お問い合わせ先>

株式会社 印傳屋上原勇七

広報担当：出澤・早川

TEL：055-220-1660 FAX：055-220-1666

MAIL：keiri@inden-ya.co.jp